



座間市緊急情報いさまメールの今後の在り方について

高波 貴志議員《自民党・いさま》

座間市緊急情報いさまメールは、平成19年9月から開始された緊急情報メール配信サービスで、運用開始後14年が経過しています。座間市緊急情報いさまメールの登録数は、令和元年11月29日時点で1万1600件であり、座間市公式LINEアカウントの登録数と比べて非常に少ない登録数です。メールを使用する割合が減少している状況下において、座間市緊急情報いさまメールの配信方法について当局の考えを伺います。

市長室長 スマートフォンの普及により3G通信システムが令和4年から段階的に終了し、最も終了時期が遅い携



市民の利便性を考えた投票区の編成への所見を問う

加藤 学議員《座間市公明党》

選挙における現在の投票区の編成について、多くの皆様から様々な要望をいただきました。中でも多いのが、投票区のパランスの悪さについての指摘です。自宅からより近く、坂もない投票所があるにもかかわらず、指定された投票所は遠く、坂があり不便である等の指摘があります。投票者にもっと配慮した投票区の編成を望むものですが、投票者の不便について、選挙管理委員会事務局としての十分な見解を持っているのか伺います。また、市民の利便性を考えた新たな投票区の編成についての見解を伺います。

選挙管理委員会事務局長

現在の投票区編成は規定を踏まえたものですが、選挙管理委員会事務局にも「高齢になり坂を登って投票所へ行くことが大変になった」という意見や「駅近くの投票所で投票したい」など、投票者の不便についての意見が届いています。市民の意見を受け止め、投票者の利便性の向上に向けた検討を進めていきたいと考えています。



女性の視点を生かした防災・減災の推進を

伊藤 多華議員《座間市公明党》

あらゆる場、組織に女性の参画を促進し、女性の視点を生かした防災・減災への取組を進めることは、子どもや若者、高齢の方、障がいのある方、LGBTの方など、多様な方々への配慮にも資すると考えます。平常時から男女共同参画の視点を持ち、実行していくことが重要です。男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインを踏まえた防災研修の今後の方向性と男女共同参画担当部局や男女共同参画センターの役割の位置づけについて見解を伺います。

市長室長 男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインによると、女性は防災意識は高いが、研修や訓練への参加が少ないとされており、女性が参加しやすい研修を実施し、女性が自ら状況を判断して動ける力をつける必要があるとされています。これを踏まえ、日頃女性が抱えている防災意識を有効的に研修などにつなげ参加していただけるよう、興味を持ちやすいテーマや参加しやすい環境づくりなどについて関係部局と連携し、研究していきます。また、役割の位置づけについて、女性の視点を取り入れることは非常に重要なことだと捉えており、地域防災計画の改定時に関係部局と連携して研究していきます。



災害時の公民連携について

美濃口 集議員《さま大志会》

災害時の公民連携についての現状をお示しください。また、令和3年6月に本市は座間総合病院に救急車を寄贈しましたが、寄贈後の使用実績を伺います。あわせて、民間救急の実績をお示しください。

現在医療機関との間で具体的な取組には至っていないため、今後、関係部局や関係機関等と連携し、検討を進めていきたいと考えています。

消防長 座間総合病院に寄贈した救急車の使用実績は、令和3年11月末現在、他の病院からの受入れに関して9件、他の病院への転院搬送は7件で、合計16件です。民間救急の実績について、本市では現在、一定の基準を満たしている2つの市内事業者を患者等搬送事業者として認定しています。搬送実績について、1者は月平均で120件から150件ほどであり、もう1者は実績がありません。



第49回衆議院議員総選挙における本市の投票状況と本市職員の安全運転教育について

川崎 高一議員《さま大志会》

第49回衆議院議員総選挙の本市における投票状況をお示しください。また、投票率向上の取組について伺います。加えて、大規模商業施設等に共通投票所を設置する考えはないのか伺います。次に、本市職員の安全運転教育及び本市の公用車における安全装備の設置状況について伺います。

選挙管理委員会事務局長

啓発用の物品を配架しました。また、市ホームページへの情報掲載や啓発用広報誌を作成し、市民に平等かつ確実に情報が伝わるように取り組みました。共通投票所の設置は、二重投票の防止に多額の費用がかかるため、現時点で設置の考えはありません。

総務部長 安全運転の研修は毎年実施しており、令和3年度は事故を起こした職員及び所属長が推薦する職員38名に実施しました。公用車の安全装備の設置状況は、使用している車両183台のうち、ドライブレコーダー搭載車両が99台、バックモニター搭載車両が64台です。



定員管理計画は議会の議決事項という誤った認識について

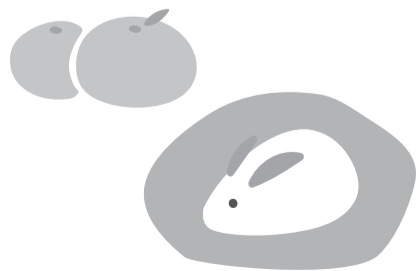
沖永 明久議員《会派に属さない議員》

2021年9月の定例会では、職員定数条例の改正について様々な意見が出されましたが、職員定数や定員管理計画について、基本的な認識が違っているのではないかと感じた場面が多々ありました。

職員定数は、任用し得る職員の上限を定めるものであり、地方自治法上、議会の議決を必要とします。定員管理計画は、定数の範囲内で任用する職員の実人数等の目標を定めるものであり、議会の議決事項ではなく、行政の裁量事項であると認識しています。一方で、定員管理計画を議会の議決事項と勘違いし、議会に上程すべきという主張も見受けられました。

総務部長 定数とは、常勤職員を任用することが可能となる職員数の限度を示したものと考えており、条例であるため議決を必要とします。一方、定員管理計画は、定数条例で定めた職員数を上限とした中で、最低限必要とする常勤職員数の計画目標を定め、適正化を図っていくもので、行政の裁量事項であり、議会の議決を要しないものです。また、これまでに定員管理計画を議案として提出したことはありません。

※(書)は、書面会議による



- 10 民生教育常任委員会
- 11 民生教育分科会
- 12 都市環境常任委員会
- 13 都市環境分科会
- 14 都市環境分科会
- 15 第4回定例会本会議
 - ・ 予算決算常任委員会
 - ・ 議会運営委員会
- 16 議会運営委員会
- 17 議会運営委員会
- 18 第4回定例会本会議
 - ・ 議会だより編集委員会
- 19 広域大和斎場組合議会
- 20 第2回定例会
- 21 高座清掃施設組合議会
- 22 第3回臨時会
- 23 厚木基地周辺市議会
- 24 基地対策協議会総会
- 25 (書)
- 26 議会だより編集委員会
- 27 全国市議会議長会基地協議会第85回総会
- 28 第102回理事会(書)
- 29 広域大和斎場組合議会
- 30 第1回定例会
- 31 議会運営委員会